



生きる力を豊かにたくましく あいほうぷだより

NO. 272 責任者 仁木 悟

夏本番！暑い夏もプールで気分も爽快



夏のプールが始まりました。あいほうぷ吹田の温水プールは、入水時にはストレッチャーや入浴用車椅子を使用し、利用者さんも支援員も負担なく安心して入水することができます。水の中ではプールのスティックや半円のビート板などいろいろな浮き具を使っ

て楽しめます。人数が多いときにはみんなで水の中をグルグル回り“人間洗濯機”で遊ぶ事もあり、このときは利用者さんも支援員もみんな笑顔で一体感が生まれています。また、普段は車椅子を利用されている方でも、水の中ではバランスをとり一人で歩かれる姿もあります。プールには・身体機能の向上（関節可動域の改善、バランス感覚の向上、心肺機能の向上）・リハビリ効果・精神的な安定（五感の発達、リラックス）など良いことばかりです。プールの後はジャグジーでさらにリラックスし、最後に採暖室で体を温めます。

吹田市在住の障害者手帳をお持ちの方は、土曜日と日曜日の地域開放事業でご利用いただけます。また団体のご利用は平日に利用可能ですので、一度施設までお問い合わせいただければと思います。

防災訓練 ～万が一のために～

7月9日に防災訓練を行いました。施設では毎年2回、消防訓練を実施して、いざという時に備えています。

今回、出火場所は周知せず、非常ベルの放送を聞いて出火場所の特定をして、それぞれの居室から、1次避難（とりあえず全員ベランダへ避難）、そして最終避難（避難スロープを使用して玄関前に全員避難）をする訓練をしました。

今回の振り返りでは

- ・出火場所の特定について全館に伝わりづらく、避難経路を判断しにくかった。
- ・1次避難先で外に避難した際には、全館放送が聞こえづらい場所があることが分かった。

などの意見が出ました。

良かった点として、「今までの訓練の成果として、火元の場所をしっかりと聞いてから避難経路の判断ができた」や「常に人数がそろっているか、取り残されている人はいないか注意を払いながら避難できた」等、いつもの成果が見られたとの意見もありました。訓練の度に、色々な気づきが生まれます。



避難用スロープにて

学校の先生に!!

6月27日(金)の午後から、新大阪にある大阪医療福祉専門学校の言語聴覚士学科へ、宇宙班の杉尾さんと小高さんの2名が講師として行ってきました。

そこでは、あいほうぷ吹田の施設紹介から始まり、日本の社会の中の障がい者の現在の状況や歴史なども説明しました。

休憩後、杉尾さんのあいほうぷに通い始めるまでの歴史や色々な思いを自身で皆さんに語りました。ご自身が生まれたのは戦後の高度経済成



これからの夢も皆さんに話されていました

阪大看護学科の学生さんたちにお話をさせていただきました

大阪大学看護学科の学生さんにあいほうぷ吹田で働く看護師についてお話をする機会を施設の看護部が頂きました。大勢の学生さんに話をするなんてめったにない機会です。

講義はオンラインで、画面から見える沢山の学生さんたちを前に緊張しながらも無事に終了。みなさん事前学習をして講義に挑んでくださったと先生から伺いました。

施設には、医療的なケアが必要な人を受けとめるために、看護師が5名います。看護師の働くところと言えば、「病院」を連想される方も多いと思いますが、医療技術の発展で、日常的に医療を必要とする方でも、地域で生活できる社



皆さんに今までの軌跡や思いを語られました

長に入る前でした。日本の復興の最中に幼少期を過ごして、当時はまだまだ障がい者施策が整っていなかった事をご自身の体験に基づいて語りました。

小高さんは、皆さんと得意としている文字盤でのコミュニケーションを楽しみ、いつものように「平和の大切さ」を訴えました。

後日、生徒の皆さんから、感想を含めた、御礼のメッセージが届き、現在の障がい者を取り巻く状況などを理解できたと記されていました。これからの社会の担い手として、改めて言語聴覚士として何ができるかの学びと想像をするきっかけになったことと思います。

会になってきています。そのために、地域医療の担い手として、将来の看護師像を想像していただけるようにと、施設紹介とそこで働く福祉スタッフや栄養士そしてリハビリ職、そして看護業務の説明をさせて頂きました。

当施設をはじめ地域医療は、福祉職のスタッフをはじめ、看護師以外にも、様々な人との連携が重要になってきます。学生の皆さんも、今まで勉強されてきた医学中心の事に加え、様々な事にも目を向ける必要性を感じ取っていただけたようです。

将来みなさんがどんな場所で活躍されるのかな？とわくわくしています。

小高さんと一緒に考えよう

永井隆さんの著書に「長崎の鐘」というものがあります。これを題材にした、歌や映画まで制作された大作です。英語やフランス語など9か国語に翻訳され、世界中で反響を呼んだこの本を小高さんも購入し熟読されています。



彼は長崎の医師であり、カトリック教徒でした。

1945年8月9日、長崎に原爆が投

下された時、彼自身も重傷を負いながら、負傷者の治療に尽力しました。被爆以前から白血病を患っており、死と隣り合わせの日々を送っていた彼でしたが、人々の為にできる限りの事をして下さったのでした。この本の話は、原子爆弾が長崎に落とされる直前から始まります。そこでは、戦時下の市民の日常が描写されていて、防空壕の中での学生たちの会話等は現代の若者のそれに通じるところがあり、時代は

違えど、親近感さえ湧くほどです。

原子爆弾が投下された時の様子は色々な目撃者の表現のまま記されていて、それぞれの描写の仕方が独特で、「太陽の光が暗く感じられるほどの光」など、「私たちが経験した事が無い程のこと」という事だけは理解でき、誰も想像する事のできない世界がそこにあった事だけは分かりました。

まだ、読み始めたばかりですが、小高さんはすでに、この想像を絶する世界に圧倒されています。「核兵器反対！」と言葉で訴える事が、重い言葉のはずですが、この本の描写に比べるとそれも簡単すぎて、無力感に襲われるぐらいです。小高さんも、言葉にできない様子でした。

ご存知の方も多くおられると思いますが、この本の素晴らしさ(というか、「すごさ」)はここでの1回のスペースでは、語りつくせません。これから数回にわたり、この本の凄さをここで紹介したいと思います。

参院選期日前投票へ

あいほうぶ吹田では、利用者の希望に応じて、選挙の期日前投票の支援を行っています。利用者1人ひとりが、それぞれの視点で社会を少しでも良くしたいという気持ちで、投票されています。

投票所では、私達スタッフから離れて、1人で行かれたり、選挙管理委員会の方に同行してもらったりしていることで選挙権を行使できている事を実感しています。気兼ねなく、投票ができる環境があってこそ、誰もが社会参加できていると感じています。



清々しい表情で出口へ

お知らせ

毎年、地域の皆様にご来場いただいているあいほうぶ祭ですが、諸事情により、今年の開催は見送らせていただきます。楽しみにして下さっている皆様、大変申し訳ありません。今後も交流センターとしての役割を果たしていけるよう、努めてまいりますので、ご理解のほど宜しくお願い致します。

あいほうぶ祭実行委員会

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日はあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を一般の方に開放しています。

プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

●利用できる方：吹田市内にお住まいで、障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。

プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

●利用時間：10時～16時

注意事項

プール利用について

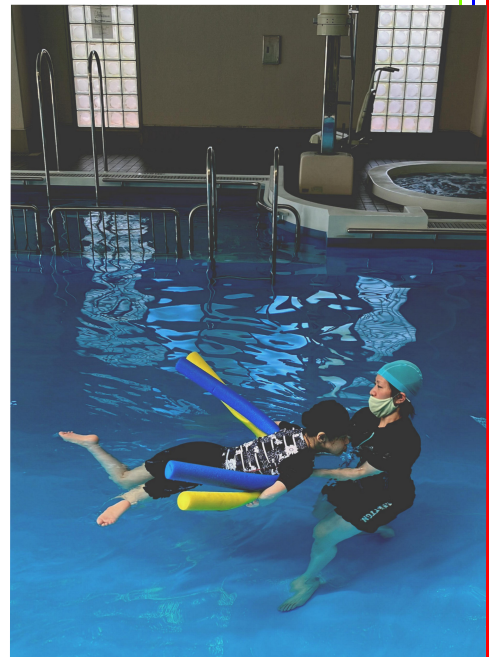
- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。

介助浴室利用について

・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までには申し込みが必要です。

・原則1時間に1組。

*ボディソープ、シャンプーはご持参ください。



多目的ホール・会議室が 利用できます

(土・日曜日 9時～17時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

全ての人に当てはまる訳ではありませんが、一般的に「女性よりも男性の方が中身は子供」と言われることがあります。

私自身、妻や子供達に幼稚さを指摘されることがありますが、単なる冗談と思い受け流してきました。

温暖化で、私が子供の時の四十年前より暑さが桁違いに酷くなってきた、以前にも増して夏が過ごし難くなっているといわれます。しかし、私の頭には夏休みに過ごした少年時代の楽しい日々がまだまだ詰まっています、毎年この時期になるとワクワクしてしまいます。改めて、そんな自分を省みると、高校生になった娘に「幼稚か」と呆れられる私の幼さは彼女たちも不安になるほどのものかも知れないと反省します。 Y



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>